

地域への感謝の気持ち込め…

汗だくになって雑草の除去作業をする学生たち



住民と共に井芹川清掃

西里校区の井芹川流域大清掃が10日（日）に実施され、本学からも学生、教職員計45人が参加しました。毎年、地域を挙げて実施している活動で、今年で通算28回目。本学は13回目の参加となります。

午前7時50分に1号館玄関前に集合した本学参加者は、軍手や鎌を受け取り、作業を開始。大学の敷地に面した川沿いの道路の柵に絡まったツタをほどいたり、路上の草を刈り取ったり、地域の方々が草刈り機で刈った草をトラックに積み込んだりしました。

また、西里まちづくり委員会からの依頼で花壇に花の苗も植えました。作業は1時間ほどで終了し、参加者には大学から心ばかりの品が渡されました。（総務課）



仲間と談笑しながら清掃作業をする学生たち



整備された花壇。花の季節が楽しみです



道端の雑草も鎌を使ってきれいに除去



約1時間の作業で集まった雑草やごみ



活発に意見が飛び交ったパネル
ディスカッション。右から健・
スポセンターの荒木栄一セン
ター長、河盛隆造氏、松原誠仁
教授、益満美寿准教授、松原慶
吾准教授、久保下亮准教授、本
田啓太講師

未来見据え 2年間の歩み総括

順大スポーツロジセンターと合同シンポ

健康・スポーツ
教育研究センター

レポート

健康・スポーツ教育研究センター（健・スポセンター）の2年間の歩みを総括し、今後を語り合うシンポジウムが1日（金）、50周年記念館であり、出席者が活発な意見交換を行いました。

「スポーツ科学の現況と未来について」と題した同シンポは、順天堂大学スポーツロジセンターの河盛隆造センター長をゲストに招き、同大学との合同開催となりました。全体を2セッションに分け、第1セッションでは、松原誠仁教授（健・スポセンター副センター長）が2022（令和4）年にスタートしたセンターの概要と歩みを紹介。松原慶吾准教授が高校生と大学生が介入の主体となっている「阿蘇プロジェクト」、久保下亮准教授がアスリートの競技力向上と学生の教育というダブルセッションに関する取り組み、本田啓太講師がパフォーマンスの可視化によるトレーニングの最適化の試みについてそれぞれの成果を披露しました。

健・スポセンターの荒木栄一センター長を座長とした第2セッションでは、冒頭、河盛氏が「sportologyって何？—順天堂大学スポーツロジセンターが目指すこと」と題して講演しました。スポーツロジとは、単なる“スポーツ医科学”ではなく、身体活動をキーワードとして関連するさまざまな専門分野の深化と統合を目指す新たな学問領域のことです。糖尿病研究の権威でもある河盛氏は、主にインスリンの作用メカニズムに関する長年の研究の中で、運動の大切さにも着目。講演では、さまざまな科学的な手法を用いながら、「健康」「運動」をキーワードに、少子化対策などの社会問題も視野に入れたスポーツロジセンターの考え方や取り組みについて話しました。

引き続き行われたパネルディスカッションでは、本学側発表者に河盛氏を交えた6人が登壇し、活発な意見交換を行いました。（NL編集部）



写真上は、筋力測定を経験する熊本高校の生徒たち。同下は、跳躍高の測定に臨む熊本西高校の生徒たち。

体育系コースの県立2高校生徒

スポーツ科学の実際学ぶ

熊本県立高校の体育系コースの生徒たちが10月下旬、相次いで来学し、アリーナに設置された最新鋭の機器などを用いて運動能力や筋力測定を体験するなど、スポーツ科学の実際を学びました。

10月25日（金）は鹿本高校スポーツ健康科学コースの2年生30人が、10mスプリントのタイム、加速度センサーを使った跳躍高、大腿四頭筋とハムストリングスの筋力などを測定しました。測定後は、「10mスプリントの時間を速くするには（測定した）どの項目が関係しているのか」というテーマの下、各計測項目のデータを基にしたグラフや計算を用いて議論していました。

同28日（月）には、熊本西高校普通科体育コースの1年生約30人も来訪。バイオデックスを用いた筋力測定や跳躍高などの測定を行った後、各測定結果を使った個人間の比較の方法を学んだり、評価をめぐる議論を経験したりしました。

両校とも部活動に所属している生徒が多く、競技力の向上や自分自身の能力に興味や関心を日頃から持っているため、測定方法などもすぐ覚え、実践している姿が見られました。（健康・スポーツ教育研究センター）

訪れた人たちと言葉を交わしながら血圧を測る学生たち



■健康フェアで住民の健康チェック 「ふれあいフェスタinほくぶ」が10月26日（土）、熊本市北区の北部体育館・北部武道館で開催され、本学の学生たちも参加しました。本学は例年、北区保健こども課、ささえりあ北部と共同で“健康フェア”を担当しています。この日は、医学検査学科、看護学科の学生計17人が、地域の人たちの健康チェック（血圧測定、体成分測定、骨密度測定）を行いました。105人が測定に訪れ、各測定コーナーでは学生と地域の人たちが身体の調子などについて和やかに話をする姿が見られました。（地域連携委員会事務局）

■フードパルフェスタ2024に参加 3日（日）～4日（月）、フードパル熊本で開催された「フードパルフェスタ2024」に、今年も本学が参加しました。本学は健康チェックコーナーを担当し、リハビリテーション学科の教員と学生が体成分・骨密度の測定を行いました。2日間で240人が訪れ、測定後のアドバイスを熱心に聞いていました。中には「毎年楽しみにしている」、「自分の身体について知るいい機会だった」などと声をかけてくれる来訪者もいました。当日は天候にも恵まれ、フリーマーケットやステージイベントなどの催しにたくさんの人たちが訪れていました。（地域連携委員会事務局）



来訪者の骨密度を測定する学生たち

インフォメーション

週間行事予定（11月18日～11月25日）

11/18（月）	定期健康診断
11/21（木）	学内インフルエンザ予防接種
11/23（土）	西里校区グラウンドゴルフ大会